

院外講師教育研修会

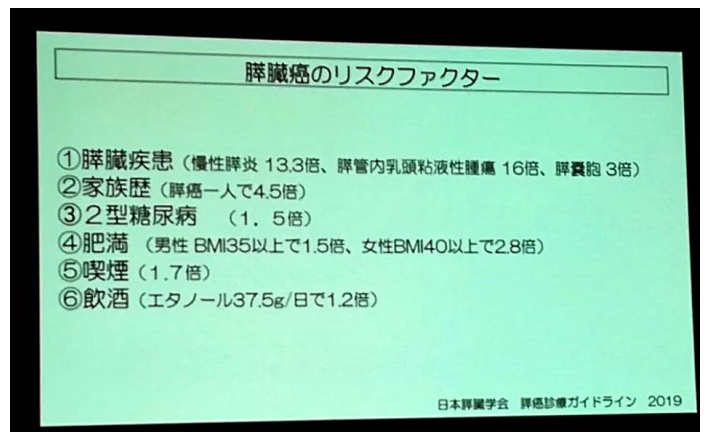
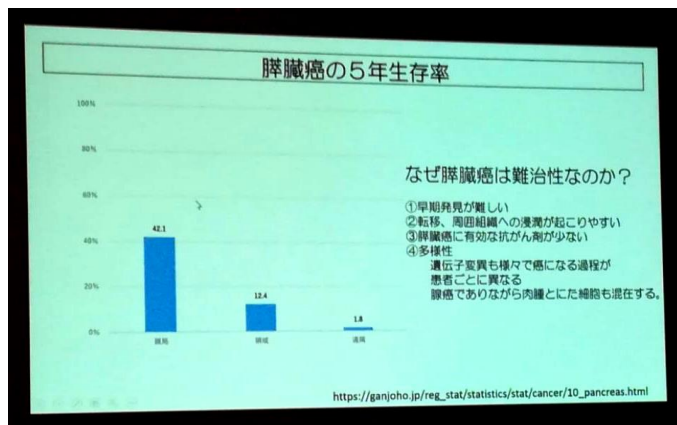
日時：令和4年 2月 15 日(火) 午後 5 時より開始

場所：はまゆう会新王子病院 本館4F 研修室・HD 室・食堂

症例：膵臓がんの症例（72 歳 男性）

講師：産業医大腎センター部長 宮本哲先生

講義中の様子です



悪性腫瘍は日本人の死因の第1位で男性の31%女性の24%を占めますが、透析患者においては心不全・感染症に続き第3位となっています。通常は年齢とともにがんの発症率は上がりますが、肝胆膵系のがんは年齢と比例せず60代が最も高くなっています。また、腎がんを含む泌尿器系のがんは透析歴が長くなるとともに増えますが、肝胆膵系のがんは透析歴が短い方が多く発症しています。

膵臓がんの5年生存率は単独のステージⅠで42.1%、浸潤等があるステージⅡで12.4%、本症例のように遠隔転移があるステージⅣでは、わずか1.8%で難治性です。早期発見できても治療が難しいがんですが、進行してしまうと予後が非常に厳しくなります。近年増えているIPMN（膵管内乳頭粘液性腫瘍）は、がん化することが多く（リスク16倍）前がん状態ともいわれています。

6個のリスクファクターを把握し、早期発見につなげることが重要とのことでした。